

コンベンション開催に伴う地域経済への波及効果の試算

佐藤 博 康

目 次

1. はじめに
2. 調査対象および調査結果の概要
3. 経済効果分析手法
4. 直接的経済効果額の想定
5. 間接的経済効果の想定
6. 雇用創出効果の推計
7. その他の効果の推計
8. まとめ－松本市におけるコンベンション開催概要から見た経済効果の規模の推計

1. はじめに

地域における観光事業の重要性はその経済的な効果にある。つまり観光は、宿泊や交通機関などの関連産業従事者や旅行者の受け入れを支援する多くの団体・企業に直接的収益をもたらすとともに、間接的には地域自治体への税収増大効果など幅広い地域貢献を果たす意味で重要な産業のひとつである。

特に、都市などに限定されて開催されるコンベンションは、その性格上、参加者の消費や行動において必然的に消費リーケージの少ない事業である。その意味では、滞在型のコンベンションによる地域への経済的波及効果は大きい。このため、国内ばかりではなく世界中の都市がコンベンション事業の重要性を認識してその誘致活動に積極的に取り組んでいる。

一方、コンベンションを開催する側からみると、開催都市決定に際して、開催地の会議施設ばかりではなく参加者が十分その役割を発揮することができるための都市機能が不可欠であり、さらに滞在を快適にするアメニティーの整備が重要な判断基準となる。こうしたことから、コンベンションをホストする都市の多くが観光地でもあるということ¹が理解できよう。

したがって、コンベンションの誘致においては、観光の持つ経済的効果への理解と地域社会全体による物心両面のサポートや関心の高まりが求められる²。以上のことから、コンベンション事業は、開催地の活性化にとって、経済面ばかりではないさまざまな影響を及ぼす事業であるということができるのである。

本稿は、こうした地方都市で開催されるコンベンション事業の地域経済への貢献度を検討する意味で、平成15年10月から11月にかけて松本市で開催された2件のコンベンションを対象に調査を行い、その経済的な波及効果の推定から松本市で開催されるコンベンション事業全体の地域経済への波及効果を試算したものである。

この研究には、松本コンベンションビューローより多大なご協力を得たことをここで感謝申し上げたい。

2. 調査対象および調査結果の概要

2. 1 調査の対象

(1) 明治大学全国学友長野大会

開催日程：平成15年10月2日～10月4日（3日間）

参加者数：1,047名（実行委員会発表）

調査実施日：平成15年10月2日

有効回答者：272名（回答者364名中74.7%）

(2) 国語学会2003年度秋季大会

開催日程：平成11月15日～11月16日（2日間）

参加者数：750名（大会事務局発表の宿泊実数から算出）

調査実施日：平成15年11月15日

有効回答者：172名（回答者213名中80.6%）

1 シカゴのコンベンション事情（佐藤）コンベンション＆コンGRESS誌1985. 参照

2 インバウンド観光の現状と課題（佐藤）「運輸と経済」財運輸調査局2004. 5月号参照。

2. 2 調査結果の概要

両コンベンション開催に伴う経済的効果の推計は下表のとおりである。

	明治大学	国語学会
直接的経済効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ①	6,698 万円	2,484 万円
参加者による消費予定支出	4,860 万円	2,358 万円
主催者による消費予定支出	1,838 万円	125 万円
間接的経済効果		
生産誘発効果推計（一次＋二次）・・・・・・・・ ②	11,998 万円	4,450 万円
一次生産誘発効果推計	8,531 万円	3,164 万円
二次生産誘発効果推計	3,467 万円	1,286 万円
経済波及効果（①＋②）	18,696 万円	6,933 万円
生産誘発率（②／①）	1.79	1.79

一人当たりの経済波及効果 約 144,400 円

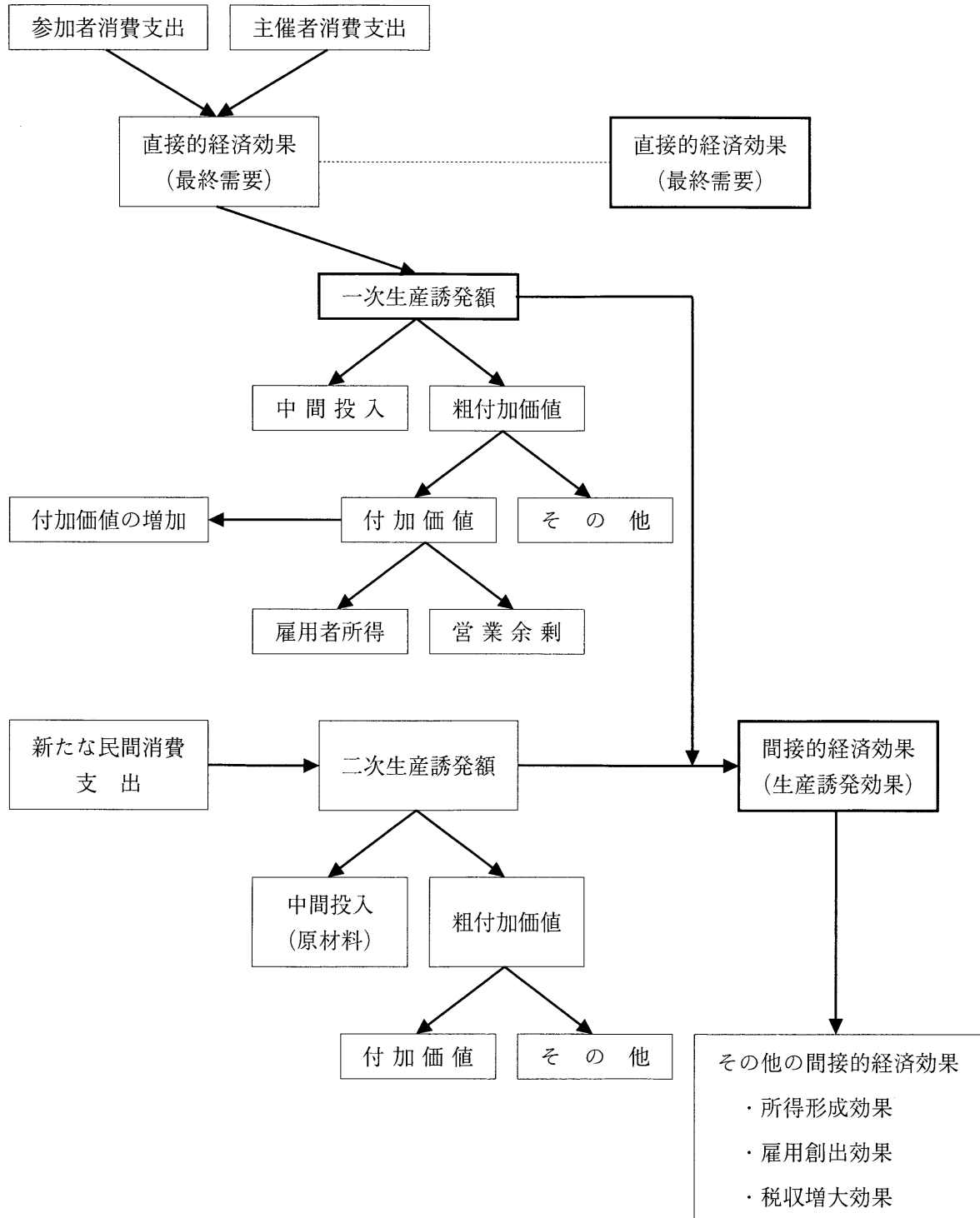
間接的経済効果		
雇用創出効果推計	約 12 人	約 4 人
一次雇用創出効果推計	9.00 人	3.34 人
二次雇用創出効果推計	2.677 人	0.99 人
所得形成効果推計 0.387（県産業関連表）	4,643 万円	1,723 万円
税収増大効果推計（松本市）	111 万円	40 万円
法人からの税収増大効果推計	60 万円	22 万円
個人からの税収増大効果推計	51 万円	18 万円

一人当たりの税収増大効果 約 840 円

3. 経済効果分析手法

3-1 コンベンション開催に伴う経済効果分析の手法

(消費の流れ)



コンベンションの開催に伴う経済効果に関する方法論に関しては、各地のコンベンションビューローをはじめ国際観光振興会（以下 JNTO）および日本コンベンションビューロー（以下 JCCB）によりその詳細が示されている³が、コンベンションの参加者による支出と主催に伴い使われた各種経費の支出によって開催地に直接売り上げとして発生する直接的経済効果と、この直接的経済効果によって発生する一次および二次生産誘発効果の総和である間接的経済効果を算出するための方法として利用されるものである。

・直接的経済効果

参加者の支出費目 宿泊費、飲食費、域内交通費、土産物・買物、娯楽・遊興費、入場料など。

主催者の支出経費 会議準備、会議設営、会議運営にかかる経費。

・間接的経済効果

直接的経済効果を受けた産業は、そのサービスを確保・提供するために余剰の設備や仕入れ、労働力の増加が必要となる。これにより新たな投資が発生し、その結果地域内外の経済システムに新たな需要をもたらす結果を生じる。これを一次生産誘発効果、二次生産誘発効果に区分して計算し、その合計を間接的経済効果とよんでいる。

3-2 今回利用した経済効果分析法

本調査による経済効果分析は、JCCB が平成12年度に国内開催のコンベンションの経済効果測定に利用した手法に従ってその経済効果を測定した。

また、波及効果測定に必要となる松本における産業連関表に関しては、平成7年度に長野県が作成した長野県産業連関表を利用した。

4. 直接的経済効果額の想定

アンケート回答者から得た消費予定額から直接的経済効果額を推定した結果は以下の通りだった。

4-1 明治大学全国学友長野大会

アンケート回答者からの消費額推計データ：

回答者一人当たり平均宿泊数	1.65泊
滞在中消費予定額： 宿泊者	平均78,538円
	男性64,896円
	女性92,180円
日帰者	平均21,370円

事務局発表の参加者総数 1,047名

事務局手配により宿泊した員数 延 1,000泊

日帰り参加者の推計 47名（地元参加者を含む）

3 コンベンションによる経済効果測定ハンドブック（平成8年、JCCB、JNTO）。

これによる総支出額推計は、

(宿泊利用参加者)

78,538円 × (1,000人 ÷ 1.65泊) 47,598,787円

(日帰り参加者)

21,370円 × 47名 1,004,390円

事務局の運営支出額合計 18,263,500円

松本コンベンションビューロー支出額 115,500円

直接的経済効果総額推計 66,982,177円

直接的経済効果	66,982,177円
---------	-------------

4-2 国語学会2003年度秋季大会

アンケート回答者からの消費予想データ：

回答者一人当たり平均宿泊数	2.16泊
滞在中消費予定額：	
宿泊者	平均34,225円
	男性36,324円
	女性30,508円
日帰者	平均18,000円

事務局手配により宿泊した員数 689名

これによる総支出額推計は、

34,225円 × 689名 23,581,025円

事務局の運営支出額 1,126,000円

松本コンベンションビューロー支出額 136,080円

直接的経済効果総額推計 24,843,105円

直接的経済効果	24,843,105円
---------	-------------

5. 間接的経済効果の想定

以上の各コンベンションにおける直接的経済効果推計額をもとに、平成7年(1995年)作成の長野県の産業連関表に基づき間接経済効果を推計したものは以下の通りである。算出の方法は、3-2で示した分析法による。

なお、ここで利用したサービス産業の生産誘発係数は、JCCBが作成した「コンベンションによる経済効果測定ハンドブック」の手法に準じ、平成7年(1995年)の長野県産業連関表付属の逆行列係数(総合大分類32部門)中のコンベンション開催関連とみなされる、「商業」「運輸」「対事業所サービス」「対個人サービス」各部門の係数の平均値(a)を利用した。

長野県における上記の係数はそれぞれ以下の通りである。

「商業」：1.2335

「運輸」：1.3440

「対事業所サービス」：1.2537

「対個人サービス」：1.2737

(いずれも下5桁以下を四捨五入。)

$$(1.2335 + 1.3340 + 1.2537 + 1.2737) \div 4 = 1.2737 \quad \dots (a)$$

また、二次生産誘発額の推計で利用される純付加価値率は、純付加価値額（雇用者所得と営業余剰の和）を県内生産額で叙したものであるが、ここでもJCCBの手法に基づき、「商業」「運輸」「対事務所サービス」「対個人サービス」各部門の純付加価値率の平均値を利用した。これによる長野県における関連各部門の純付加価値率(c)は以下の通り。

$$\text{「商業」} : (64,686,891 + 13,214,284) \div 130,216,892 = 0.5982$$

$$\text{「運輸」} : (20,159,609 + 4,342,461) \div 70,467,670 = 0.3477$$

$$\text{「対事務所サービス」} : (18,292,869 + 4,915,691) \div 58,822,010 = 0.3946$$

$$\text{「対個人サービス」} : (28,605,670 + 11,163,536) \div 95,360,313 = 0.4170$$

(いずれも下5桁目を四捨五入)

$$(0.5982 + 0.3477 + 0.3946 + 0.4170) \div 4 = 0.4394 \quad \dots (b)$$

なお、今回の経済波及効果測定においては、会議場（松本市文化会館）で発生した光熱費、人件費などの管理運営経費については触れられていないが、これらは会議事務局経費の内、会場借り上げ費に含まれるものとして考えることとした。

5-1 明治大学全国学友長野大会

(1) 一次生産誘発効果の推計

当該大会の直接的経済効果額に基づく一次生産誘発効果は以下の通りである。

直接的経済効果 × 長野県におけるサービス産業の生産誘発係数(a)

$$= 66,982,177 \text{円} \times 1.2737 = 85,315,198 \text{円} \quad \dots (c)$$

(2) 二次生産誘発効果の推計

一次生産誘発額に基づく純付加価値額の推計は下記の通り。

純付加価値額 = 一次生産誘発額 × サービス産業の純付加価値率(b)

$$= 85,315,198 \text{円} \times 0.4394 = 37,487,498 \text{円} \quad \dots (d)$$

これによる新たな民間消費支出（円）は、

$$= \text{純付加価値} \times \text{消費性向}$$

$$= \text{純付加価値（円）} \times [\text{民間消費支出（円）} / \text{純付加価値（円）}] \dots (e)$$

また、長野県の消費性向は以下のように算出できる。

$$\text{消費性向} = \text{民間消費支出の内生部門} \div (\text{雇用者所得} + \text{営業余剰})$$

$$= 476,178,884 \div (480,922,166 + 169,099,565) = 0.7326$$

これを(e)式に当てはめると、

$$\text{新たな民間消費支出} = 37,487,498 \text{円} \times 0.7326 = 27,463,341 \text{円}$$

したがって、二次生産誘発額（円）

$$= \text{新たな民間消費支出（円）} \times \text{全産業の平均生産誘発係数*}$$

*列和の合計を32（分類）で除したもの。

$$= 27,463,341 \text{円} \times 1.2627 = 34,677,961 \text{円} \dots (f)$$

(3) 生産誘発効果の総額の推計

生産誘発額総計（円） = 一次生産誘発額（円）(c) + 二次生産誘発額（円）(f)

$$= 85,315,198 \text{円} + 34,677,961 \text{円} = 119,993,159 \text{円}$$

5-2 国語学会2003年度秋季大会

上記の係数ならびに数式を国語学会に当てはめると以下の通りである。

(1) 一次生産誘発効果

$$\begin{aligned} & \text{直接的経済効果} \times 1.2737 \\ & = 24,843,105 \text{円} \times 1.2737 = 31,642,662 \text{円} \end{aligned}$$

(2) 二次生産誘発効果

$$31,642,662 \text{円} \times 0.4394 \times 0.7326 \times 1.2627 = 12,861,751 \text{円}$$

(3) 生産誘発効果の総額の推計

$$\text{生産誘発額総計 (円)} = 31,642,662 \text{円} + 12,861,751 \text{円} = \underline{44,504,413 \text{円}}$$

6. 雇用創出効果の推計

6-1 明治大学全国学友長野大会開催に伴う雇用創出効果の推計

当該大会の開催に伴う域内の雇用創出効果は下記の通り。

一次雇用創出効果 (人)

$$\begin{aligned} & = \text{一次生産誘発額 (円)} \times \text{サービス産業の就業係数 (人/百万円)} \\ & = 85,315,198 \text{円} \times (0.147336 + 0.058799 + 0.103570 + 0.112383) \div 4 \\ & = (85,315,198 \text{円} \times 0.105522 \text{人}) \div 1,000,000 \text{円} = \underline{9.003 \text{人}} \end{aligned}$$

二次雇用創出効果 (人)

$$\begin{aligned} & = \text{二次生産誘発効果 (円)} \times \text{全産業の平均就業係数 (人/百万円)} \\ & = (34,677,961 \text{円} \times 0.077205 \text{人}) \div 1,000,000 \text{円} = \underline{2.677 \text{人}} \end{aligned}$$

雇用創出効果総計 約12人

明治大学全国学友長野大会開催による主な経済効果の推計：

直接的経済効果	66,982,177円
間接的経済効果 (一次、二次を含む)	119,993,159円
雇用創出効果 (人)	約12人

6-2 国語学会2003年度秋季大会開催に伴う雇用創出効果の推計

一次雇用創出効果

$$= (31,642,662 \text{円} \times 0.105522 \text{人}) \div 1,000,000 \text{円} = \underline{3.34 \text{人}}$$

二次雇用創出効果

$$= (12,861,748 \text{円} \times 0.077205 \text{人}) \div 1,000,000 \text{円} = \underline{0.99 \text{人}}$$

雇用創出効果総計 約4人

国語学会2003年度秋季大会開催による主な経済効果の推計：

直接的経済効果	24,843,105円
間接的経済効果 (一次、二次を含む)	44,504,413円
雇用創出効果 (人)	約4人

7. その他の効果の推計

7-1 所得形成効果

所得形成効果は、生産誘発額に全産業の平均純付加価値率を乗じたものである⁴。

所得形成効果額（円）＝生産誘発額（円）×全産業の純付加価値率

なお、全産業の純付加価値率は、全産業の（雇用者所得＋営業余剰）を全産業の生産額で除したものであり、長野県の場合には産業連関表32部門により0.387となる。

したがって、今回の調査対象となった二つのコンベンションの所得形成効果の推計はそれぞれ以下の通りとなる。

- ① 明治大学全国学友長野大会開催に伴う所得形成効果の推計

$$119,993,159円 \times 0.387 = 46,437,353円$$

- ② 国語学会2003年度秋季大会開催に伴う所得形成効果の推計

$$44,504,413円 \times 0.387 = 17,233,207円$$

7-2 税収増大効果

所得が増えること、および消費が拡大することで地域には税収が発生する。特に、個人住民税、法人住民税、事業税は地方税として開催地域への税収効果として貢献している。これらの税収増大効果の計算方法は以下の通りである。

- ア 法人住民税及び事業税における効果：生産誘発額（円）×税収係数

ただし、法人の税収係数は、

$$(\text{法人の市町村民税} + \text{県民税} + \text{法人事業税}) \div \text{県内生産額}^*$$

*産業連関表（取引基本表）の県内生産額は16,782,002,060千円。

したがって、松本市の場合の法人税収係数は以下の計算により算出できる。

$$(4,100,743千円 + 13,988,589千円 + 66,839,820千円) \div 16,782,002,060千円 = 0.00506$$

- イ 個人住民税における効果：所得形成効果額（円）× 税収係数

ただし、個人の税収係数＝（個人の市町村民税＋県民税）÷雇用者所得額*

*産業連関表（取引基本表）の雇用者所得の内政部門合計額は

4,809,221,660千円。

松本市の場合の個人税収係数は以下の通り。

$$(15,210,422千円 + 36,283,972千円) \div 4,809,221,660千円 = 0.0107$$

以上により調査対象となった各コンベンションの税収増大効果の推計は以下の通り。ただし、前述の各種税の額は、平成16年3月現在で最新のものである平成14年版地方財政統計年報（「財団地方財務協会」発行）による数値を利用した。このため、長野県産業連関表（平成7年）との関係では各係数が現状よりも大きくなる可能性があることに注意する必要がある。

- ① 明治大学全国学友長野大会開催による税収増大効果：

- ア 法人住民税及び事業税による税収増大効果額：

$$119,993,159円 \times 0.00506 = 607,165円$$

- イ 個人住民税による税収増大効果額

$$47,767,590円 \times 0.0107 = 511,113円$$

- ウ 合計 1,118,278円

4 （社）日本観光協会発行「観光地の経済効果推定マニュアル」平成11年3月。

② 国語学会2003年度秋季大会開催による税収増大効果：

ア 法人住民税及び事業税による税収増大効果額：

$$44,504,413円 \times 0.00506 = 225,192円$$

イ 個人住民税による税収増大効果額：

$$17,233,207円 \times 0.0107 = 184,395円$$

ウ 合計 409,587円

税収見込み額総額 1,527,865円

8. まとめ－松本市におけるコンベンション開催概要から見た経済効果の規模の推計

過去4ヵ年度中に松本市で開催されたコンベンションのデータは下記の通りである。

年 度	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
区 分	件数	参加者	件数	参加者	件数	参加者	件数	参加者
国際会議・音楽祭	7	7,180	8	14,020	9	27,720	6	18,810
国際スポーツ大会	3	2,100	3	1,900	3	1,450	1	680
学 会	18	19,380	11	7,020	12	6,500	19	8,770
ス ポ ー ツ 大 会	17	18,540	24	19,920	17	20,660	22	21,100
各 種 大 会	14	4,380	14	18,020	14	5,870	18	6,790
そ の 他	14	17,050	13	17,660	22	22,340	18	25,360
合 計	73	68,630	73	78,540	77	84,540	84	81,510

松本コンベンションビューローの資料より筆者編集。

*年度は4月1日より翌年の3月31日まで。平成15年度については、12月末までの実績と平成16年3月31日までの予定を含む。

本研究では、冒頭で触れたとおり、コンベンション開催に伴う地域経済への波及効果の規模を推定することを目的とした。

その結果、今回サンプル調の対象とした2件のコンベンションにおける参加者一人当たりの経済波及効果は、約144,400円となった。

松本市では、コンベンション誘致事業に年間2,400万円を補助金として計上し、コンベンションビューロー（正会員27社、賛助会員90社）では会員よりの分担金1,200万円を集め、総額年間約4,100万円の予算で誘致事業を行っている。

単純に計算すると、コンベンションに参加した員数で年間の事業予算を除すると、コンベンションの目的で来訪する者一人当たり約500円を投じた計算である。

この投じられた一人当たりの金額500円に対して、経済波及効果はおよそ144,400円であるから、投資効果は約290倍ということになる。コンベンション事業の重要性はこの投資効果からも理解できる。さらに、松本市への税収効果としては、一人当たり約850円となり、年間でおおよそ7千万円にのぼるものと推計できる。この結果、松本市の補助金2,400万円に対しては、約2.85倍のリター

ンをもたらした計算になる。

なお、今回採用した支出予定額からの推計は決算額ではなくあくまでも予定額を基準にしていることからこのデータを一般化することには注意が必要であることをお断りしておきたい。今後さらに正確な情報を得るためには個々のコンベンションの性格や調査対象者の消費決算額に対する細かな分析が必要となっており、この点については観光消費額の分類方法（WTO によるサテライト・アカウント問題）を含め、今後の研究のテーマにさせていただきたい。

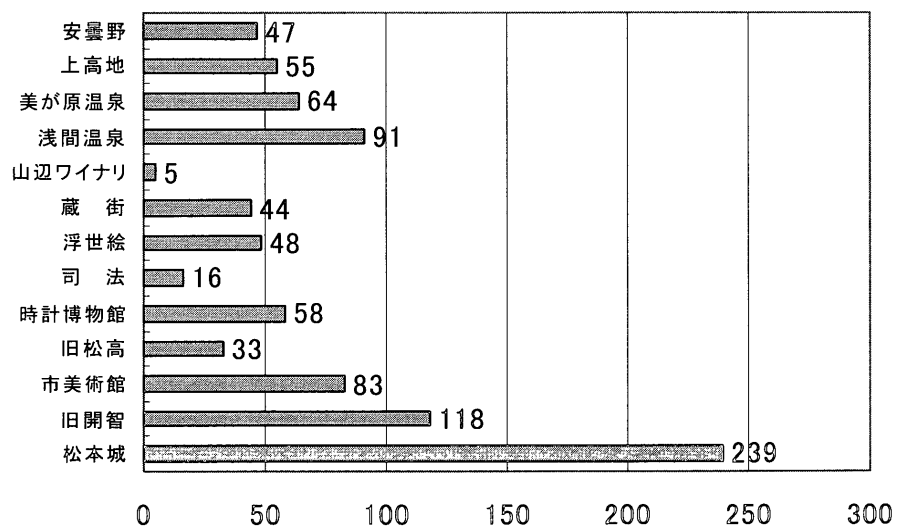
最後に、今回の経済効果調査に関連して、松本市の観光要素についての旅行者からの回答を得た。その内容を資料として添付しておきたい。これらは今後の松本への観光客誘致活動に向けて参考になるものと思われる。

参考資料

1. 明治大学全国学友長野大会参加者の回答：

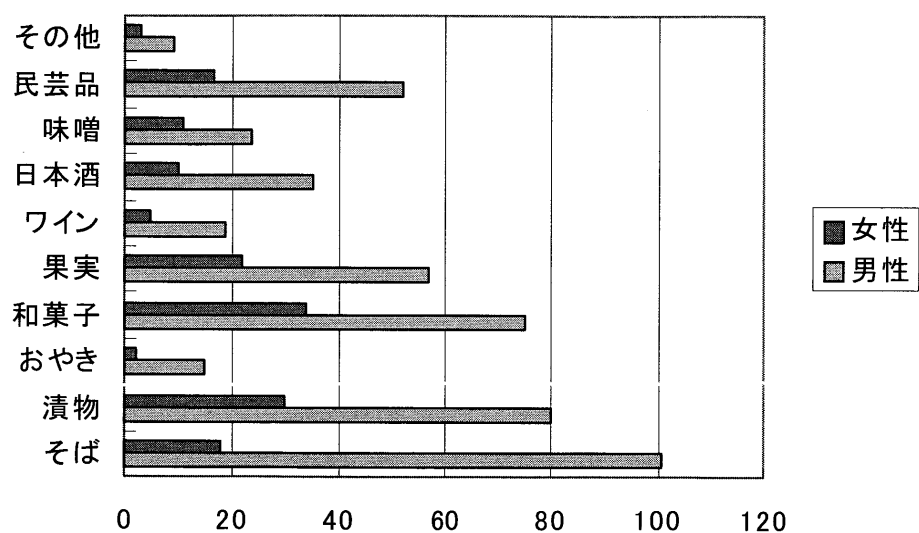
松本における訪問先（予定を含む）：

男 性		女 性	
松本城	187	松本城	52
市美術館	66	市美術館	18
旧開智学校	91	旧開智学校	27
旧制松本高校	39	旧制松本高校	5
浅間温泉	65	蔵の街	10
時計博物館	44	浅間温泉	26
安曇野	31	時計博物館	12
上高地	41	安曇野	16
美ヶ原温泉	47	司法博物館	1
浮世絵博物館	39	浮世絵博物館	9
蔵の街	34	美ヶ原温泉	17
山辺ワイナリ	5	上高地	14
司法博物館	15	その他	4



おみやげ購入予定：

男 性		女 性	
そば	101	和菓子	34
漬物	80	漬物	28
和菓子	75	果実	22
果実	58	そば	18
民芸品	52	民芸品	17
日本酒	35	味噌	11
味噌	23	日本酒	10
ワイン	19	ワイン	5
おやき	15	日用品	3
その他	9	おやき	2



松本への期待：

男 性		女 性	
山がきれい	131	山がきれい	38
環境がよさそう	120	温 泉	34
温 泉	83	環境がよさそう	33
過去に行った経験がある	43	信州だから	11
一度行ってみたかった	37	一度行ってみたかった	10
信州だから	31	過去に行ったことがある	10
知り合いがいる	9	知り合いがいる	2

松本に関する情報の入手先：

大会事務局	77	(30%)
松本市のパンフレット	57	(23%)
知 人	35	(13%)
旅行代理店	30	(12%)
雑 誌	25	(10%)
インターネット（市以外）	19	(6%)
市のホームページ	16	(5%)
その他	3	(1%)

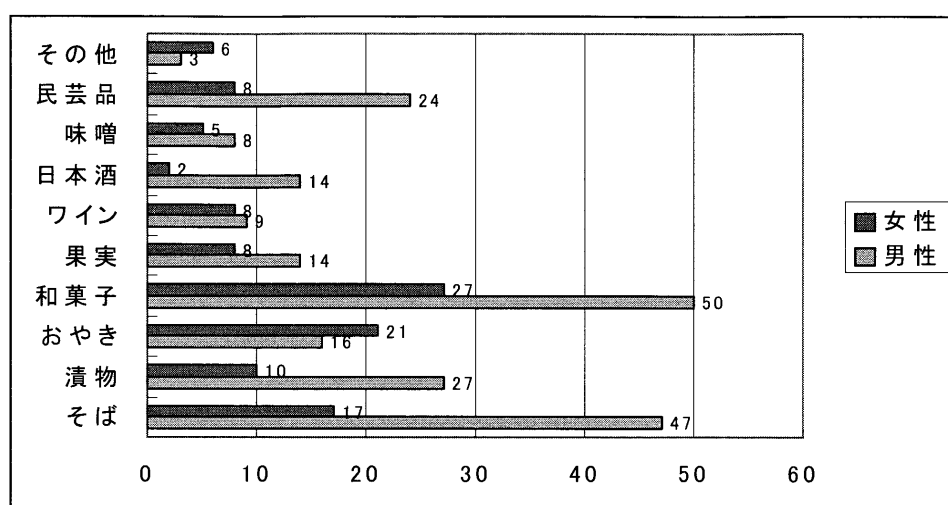
2. 国語学会2003年度秋季大会参加者の回答：

松本における訪問希望先：

<u>男 性</u>		<u>女 性</u>	
松本城	83	松本城	41
市美術館	55	市美術館	34
旧開智学校	43	旧開智学校	29
旧制松本高校	29	旧制松本高校	18
浅間温泉	16	蔵の街	13
時計博物館	13	浅間温泉	12
安曇野	12	時計博物館	8
上高地	10	安曇野	7
美ヶ原	9	司法博物館	4
浮世絵博物館	8	浮世絵博物館	4
蔵の街	8	美ヶ原温泉	4
山辺ワイナリ	4	山辺ワイナリ、上高地	各2

おみやげ購入予定：

男 性		女 性	
そば	47	和菓子	27
漬物	27	おやき	21
和菓子	50	そば	17
果実	14	漬物	10
民芸品	24	民芸品	8
日本酒	14	果実	8
味噌	8	ワイン	8
ワイン	9	味噌	5
おやき	16	日本酒	2

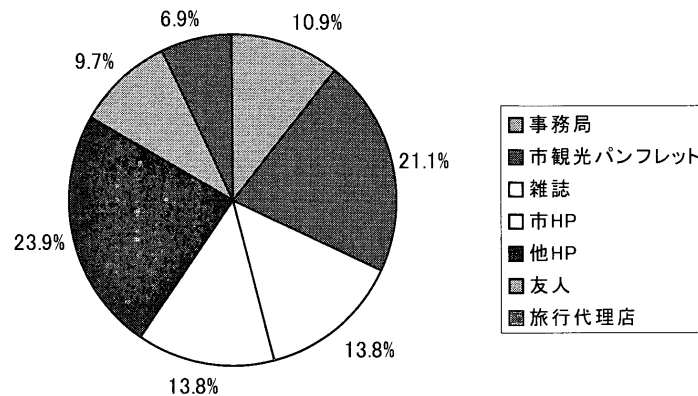


松本への期待：

男 性		女 性	
山がきれい	77	山がきれい	33
環境がよさそう	61	環境がよさそう	24
過去に行った経験がある	29	過去に行った経験がある	14
温 泉	24	温泉	10
信州だから	15	一度行ってみたかった	8
一度行ってみたかった	13	知り合いがいる	7
知り合いがいる	10	信州だから	5
その他	1		

松本に関する情報の入手先：

松本市のパンフレット	32	インターネット（市以外）	27
インターネット（市以外）	32	松本市のパンフレット	20
雑誌	25	市のホームページ	10
市のホームページ	24	雑誌	9
会議事務局	19	友人	9
友人	15	会議事務局	8
旅行代理店	12	旅行代理店	5



3. 参加者による松本への印象およびコメント集

コンベンション開催地である松本に対する参加者からの印象やコメントについて、以下のようない意見があった。

① 明治大学学友長野大会参加者：

1. 松本の良いところ

- ・町並み (25)
- ・環境がよい（水や空気を含む）(18)
- ・食べ物（そばを含む）(14)
- ・自然（山を含む）(10)
- ・人あたり（親切を含む）(7)
- ・タクシーのサービス (3)
- ・ブエナビスタの接客態度 (2)
- ・ごみが少ない (2)
- ・100円バス (2)
- ・歴史、景色 各1

2. 改善点

（交通機関に関するもの）

- ・道が狭い (9)
- ・交通が不便 (2)
- ・駅にエスカレーターがない

- ・ 100円バスのPR不足

- ・ 路上駐車が問題

(観光に関するもの)

- ・ 駅前の案内がわかりにくい (2)

- ・ わかりやすいパンフレットが欲しい

- ・ 温泉、歴史、美術コースが欲しい

(ホスピタリティに関するもの)

- ・ ホテルの対応が悪い (2)

- ・ ゴミ箱が少ない

- ・ 活気が無い (2)

- ・ 期待したほど人情がよくない

② 国語学会参加者：

1. 松本の良いところ

- ・ 町並み (20)

- ・ 自然 (気候、山を含む) (8)

- ・ 親切 (7)

- ・ 文化的 (歴史を含む) (7)

- ・ 足回り (タウンスニーカーなど) (6)

- ・ 環境 (5)

- ・ タクシー (3)

- ・ 道がきれい (3)

- ・ 城下町の風情・景観 (2)

- ・ 施設が充実 (宿泊を含む) (2)

- ・ 食べ物 (そばなど) (2)

- ・ 無料入場券 (2)

- ・ 歩きやすい (1)

2. 改善点

(交通機関に関するもの)

- ・ バス路線がわかりにくい (7)

- ・ 道が狭い (6)

- ・ バスの便数が少ない (6)

- ・ バスターミナルがわかりにくい (5)

- ・ 交通が不便 (3)

- ・ 交通マナーが悪い (2)

- ・ 一方通行が多すぎる (1)

- ・ 渋滞 (1)

- ・ 駅前の自転車放置 (1)

- ・ タウンスニーカーの本数が少ない (1)

- ・ 通りの名前がわかりにくい (1)

- ・ 道路標識が少ない (1)

(観光に関するもの)

- ・ 道案内板が少ない、わかりにくい (4)

- ・ 閉店が早すぎる (3)

- ・ 食事どころの案内パンフレットが欲しい (2)

- ・市のホームページがよくない (1)
- (その他環境など)
- ・客引きが怖い (5)
 - ・そばが高い (1)
 - ・歩行者が安心して歩ける歩道 (1)
 - ・喫煙室が欲しい (1)
 - ・駅の土産店が小さい (1)
 - ・町並み保存で新しいものを作りすぎ (1)